



ASCII MEDIA WORKS

NEWS RELEASE

報道関係各位

2011年7月11日

株式会社アスキー・メディアワークス

「恋空」「赤い糸」を生んだ、日本最大級ケータイ小説サイト「魔法のiらんど」発
全国の女子中高生 80 万人以上が恐怖した“最恐”ホラーケータイ小説

『ゴメンナサイ』 映画化決定

ハロプロトップアイドル・Buono! 映画初主演・初主題歌

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:高野 潔 以下アスキー・メディアワークス)が運営する日本最大級のケータイ小説サイト「魔法のiらんど」から生まれた、“最恐”ホラーケータイ小説『ゴメンナサイ』が映画化されることになりました。ハロプロのトップアイドル Buono!が映画初主演を務め、映画主題歌も担当いたします。

『ゴメンナサイ』は日本最大級のケータイ小説サイト「魔法のiらんど」に掲載されたホラー小説で、双葉社より2011年7月14日に文庫版が発売予定です。高校2年生の日高由香が通う学校で、数人の生徒が謎の死を遂げる。死んだ生徒はみな、クラスで気味悪がられていた黒羽比那子書いた“見たら死ぬシナリオ”を読んでいた……。著者・日高由香の身に起こった出来事を小説化したという本作は、全国の女子中高生80万人以上を震撼させました。

本作で映画初主演となるのが、ハロプロのトップアイドル℃-ute鈴木愛理とBerryz工房の嗣永桃子・夏焼雅の3人で結成しているガールズロックユニットBuono!。ポップスからロックまで幅広い音楽性を持つBuono!が、本作では1人2役に挑戦しています。役者としてだけでなく、観客にリアルな恐怖を体感させるナビゲート“Buono!”本人役としても登場し、見どころが満載の作品になっています。また、自身にとって初となる映画主題歌もBuono!が提供しています。

映画『ゴメンナサイ』は、2011年秋全国順次ロードショー予定です。ぜひご期待ください。



↑ Buono! (左から嗣永桃子、鈴木愛理、夏焼雅)

■映画『ゴメンナサイ』キャスト・スタッフなど

主演: Buono! (鈴木愛理、夏焼雅、嗣永桃子)

監督: 安里麻里 (『携帯彼女』『呪怨 黒い少女』)

原作: 日高由香「ゴメンナサイ」(魔法のいらんど/双葉社刊)

脚本: 南川要一、安里麻里

主題歌: Buono! タイトル未定 (zetima)

プロデューサー: 月成大地、柳原祥広、楠智晴、檜本皓

製作: 「ゴメンナサイ」製作委員会

配給: Thanks Lab.

映画『ゴメンナサイ』公式サイト: <http://gomen-nasai.com>

©2011 日高由香/アスキー・メディアワークス/「ゴメンナサイ」製作委員会

■『ゴメンナサイ』ストーリー

神奈川県の高校に通う3年生の日高由香(鈴木愛理)は、1年前、世にも恐ろしい体験をした。文芸コンクールで入賞をするほど類まれなる文才に溢れた黒羽比那子(夏焼雅)は、学年一の秀才であり由香のクラスメイト。しかし、その姿は不気味で、周りからは「幽霊」と呼ばれるほど。

ある日、テストで黒羽に勝てなかった園田詩織(嗣永桃子)は逆恨みをして、ホームルームで黒羽を糾弾する。クラス中を巻き込んで、彼女に執拗な嫌がらせを始めるが、イジメにさえ反応しない黒羽に園田は苛立ちを隠せないでいる。そこで、秋の文化祭で披露するクラスの出し物が演劇に決まったので、その脚本を書かせることを黒羽に押し付けた。書き上げてくる脚本にダメ出しをして、黒羽を徹底的にイジめるつもりだったのだが…。

その日から、園田や由香の身の回りで不可解な死が続くようになる。命を削るように書き綴っていた黒羽の脚本には、読んだ人間を無差別に殺すことができる呪いがかけられていたからだ。由香や園田、そしてクラスメイトは、迫りくる黒羽の呪いから逃れることができるのだろうか—。

映画化にあたって、Buono! と原作者からのコメント

<Buono! より>

映画主演と聞かされた時は、Buono!として3人で一緒に映画にでられると思っていなかったのが、最初はびっくりして驚きましたし、どんな映画に仕上がるのか気になりました。

映画『ゴメンナサイ』では、いつものBuono!とは全く異なる役柄を3人それぞれ演じてます。

馴染みのない役を演じる難しさはありましたが、安里監督に細かく演技指導をしていただき、コミュニケーションを取っていったので、1シーンごとに気持ちをつくりやすかったです。

ストーリーが進んでいくと衝撃の結末が待っています。

最初に脚本を読んだときに私たちも感じたように、ラストシーンで皆様にも一番の驚きをもっていただけると思いますので、お楽しみ下さい。

<原作者: 日高由香より>

高校の文芸部に所属していた時に書いたホラー小説が「ゴメンナサイ」でした。

私にとって「ゴメンナサイ」はとても思い入れが強い作品です。

少しでも多くの人に、この映画を観てもらえたらと思ってます。

<ご参考>

■Buono! プロフィール

Berryz工房の嗣永桃子、夏焼雅、℃-uteの鈴木愛理からなる、女性3人組Rockユニット。
2007年3月21日サンシャインシティ噴水広場で開催された「なかよしフェスティバル2007」にてユニット結成を発表。同8月22日、パレットタウンパレットプラザにてデビュー曲発表ライブを開催。
現在までにシングル11枚、アルバム3枚、ベストアルバム1枚をリリース。

■「魔法のらんど」とは <http://maho.jp/>

無料ホームページ作成サービスとして1999年12月にスタート。安心して楽しめる安全なモバイルインターネットサービスとして、ユーザーのクチコミで瞬く間に広がり、サービス開始から約11年間で利用者数600万人・月間ページビュー35億を超える日本最大級のケータイ小説サイトに成長しております。

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社アスキー・メディアワークス 経営企画部
TEL:03-5216-8123 FAX:03-5216-8124 E-mail:plan-pr@ml.asciimw.jp